

PET/CT 検査の価格改定のお知らせ

最先端の装置を使った、精度の高いがんの検査です
一度の検査で全身を診ることができます
注射をして寝ているだけ・・・苦痛の少ない検査です

旧価格—151,200円 → 新価格 99,900円(税込価格)

※医療ツーリズムを介しての外国人の方は委細相談

PET/CT 検査のしくみ

がん細胞は正常細胞より3～8倍も多くブドウ糖を取り込みます。このためFDGというブドウ糖に似た検査薬を注射すると、FDGががん細胞に集まりそれを画像としてとらえることで、がんの有無や位置、悪性度などがわかります。また同時に行うCT検査から、がんの部位や形態などの追加情報を得ることも可能です。

精度の高い検査ですが、全てのがんがPET/CT検査だけで診断できるわけではありませんので、当センターでは胃カメラ・腹部超音波検査・マンモグラフィ—といった他検査と併用して受診されることをお勧めしています。



このような方にお勧めです

ご家族にがんの方が多い方
通常の総合検診に追加して、より詳しい検査を望まれる方
検診で腫瘍マーカーが高いなど、心配な所見のある方

PET/CT 検査の流れ

検査の所要時間は、3時間～3時間半程度です
検査の5時間前から食事及び糖分の含まれる飲物は控えていただきます
受付⇒更衣⇒問診⇒検査薬の注射⇒1時間安静⇒排尿⇒撮影(約20分)⇒帰宅

実施日

月曜日～金曜日(祝日除く)

お問合せ

日本大学病院 健診センター
TEL: 03-3293-1701 (電話受付時間 8:30～16:00)



Q 検査前日から検査終了後までの間、守らなければいけない事は？

A 検査前日と検査当日は激しい運動（ジョギング、水泳、サイクリングなど）を控えてください。検査4時間以上前から絶食にしてください。FDGはブドウ糖に似た成分ですので、糖分を含む飲み物は飲まないでください。お茶やお水は、FDGを尿とともに体外へ排出しやすくするので、飲んでもかまいません。検査終了当日は、まだ体内に微量の放射性物質が残っていますので、検査終了後1～2時間はできるだけ人込みはさけてください。また検査当日は、妊婦や乳幼児との接触をなるべく避けるよう努めてください。

Q なぜ検査前から絶食にするのですか？

A PET検査は、がん細胞が大量のブドウ糖類似のFDGを取り込む性質を利用した検査です。そのため、検査前に食べ物や甘い飲み物を摂取すると、がん細胞が満腹状態になり、FDGを注射しても集積が悪くなります。その結果、がんの正確な情報が得にくくなります。

Q 被ばくが心配なのですが？

A FDGからの被ばく線量は、約4mSv（ミリシーベルト）で、胃のバリウム検査と同等です。ここへさらに、CTによる被ばくが加わり約15mSvになりますが、この線量で放射線障害が起こることはありませんので、ご安心ください。

Q 閉所恐怖症ですが？

A PET/CT装置はドーム状の機械で、検査中はその中を通過します。どうしても我慢できない場合は、対策を取りますので、あらかじめ医師にご相談ください。

Q 糖尿病でも検査を受けられますか？

A 糖尿病など血糖値が高い方の場合、FDGが筋肉や脂肪へ集積しやすい傾向にあるため、がんへのFDGの集積が低下します。そのため診断精度が下がる場合があります。PET/CT検査が実施できるかどうかについては、医師にご相談ください。

Q 妊娠中や妊娠の可能性のある場合は検査を受けられないのですか？

A FDGは微量の放射性物質を含んでいるため、妊娠中または妊娠の可能性のある方は原則として検査が受けられません。妊娠中や妊娠の可能性のある方は必ず医師にお申し出ください。

Q PET/CT検査なら、小さながんも見つけられるのでしょうか？

A PET/CTといえども、顕微鏡レベルの微小ながんは発見することができません。また、進行の度合いや細胞の種類によっても発見しにくいがんがあります。

Q PET/CT 検査なら、どんな種類のがんも見つけられるのでしょうか？

A 臓器や部位によっては、発見しにくいがんがあることもご了承ください。FDG は尿中へ排泄されるため、腎臓や膀胱などのがんも発見しにくい場合があります。発見しにくいがん膀胱・尿管の癌、腎臓癌、肝細胞癌、胃癌、前立腺癌（すべての臓器の）微小ながんなど